

「投票に行こう」

学校で呼びかけ

県選管

参院選で選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、県選管は24日、松本市の私立中高一貫校、松本秀峰中等教育学校などを皮切りに高校3年生向け

に投票を呼びかける啓発活動を開始した。

松本秀峰では高校3年にあたる6年生76人のうち26人が今回初めて有権者になる。

県の担当者はこの日、衆院選と参院選の投票の違いがあることなどを説明。「自信を持って投票してほしい」と呼びかけた。

7月10日の投票日直前に18歳になるという同市の中沢冬芽さんは「東京五輪や少子高齢化など自分が持つ



県の担当者の説明を熱心に聴き入る松本秀峰中等教育学校の生徒たち＝松本市埋橋2丁目

ている知識の範囲でより現実的な政策を訴える人や政党を見極めて投票したい」と話していた。